

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ザ・テラス茅ヶ崎ザンビーチ	階数	地上5F
建設地	茅ヶ崎市中海岸四丁目11717-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	548 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2013年1月21日
敷地面積	6,862 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	3,123 m <sup>2</sup>	確認日	2013年1月21日
延床面積	10,575 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 73%

上記+ 以外の: 73%

上記+: 73%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

光・視聴環境 2.9 温熱環境 3.9 空気質環境 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性 3.0 耐用性 3.1 対応性 2.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境 3.0 まちなみ 3.0 地域性 3.0

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物の 3.0 自然エネ 3.0 設備システ 4.9 効率的 N.A.

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源 2.2 非再生材料の 2.7 汚染物質 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化 4.0 地域環境 2.8 周辺環境 2.7

3 設計上の配慮事項		その他
総合 住環境として必要不可欠なもの+生活する上でのランニングコストを抑えた住宅		0
Q1 室内環境 開口部にペアガラスを採用	Q2 サービス性能 電話設備とは別にインターネットへ接続できる環境を構築し通信手段の多様化を図っている。	Q3 室外環境(敷地内) 提供公園を設置、地域に開放された、コミュニティスペースと同時に街並みの緑の形成に寄与
LR1 エネルギー 住宅性能表示制度 省エネ等級3を取得予定 給湯設備に潜熱回収型給湯器を採用し、ガス消費量の削減及びCO <sub>2</sub> 排出量の削減に配慮した。また、各住戸2面に採光通風窓を設け風の通り抜ける形状としている。 サッシにはペアガラスを採用	LR2 資源・マテリアル 躯体と内装を分離した設計 設備配管は躯体埋没なし	LR3 敷地外環境

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される